

医者になる コロナ禍で決意新た

新型コロナウイルスの感染拡大を食い止めようと医療関係者が奮闘する中、医師を目指す高校生たちも在宅で勉学に励んでいる。

医学部受験専門予備校「メディカルラボ」名古屋校では1日午後、講師の尾木歩あゆみさん(50)がiPadを通して英語の個別授業をしていた。「キョーイクホールデー



医学部を目指す高校生らにオンライン授業をする講師＝名古屋市中村区のメディカルラボ名古屋校

専門予備校 双方向のオンライン授業

ングス」が運営するメディカルラボは全国に27校あるが、新型コロナの影響で名古屋校など複数の校舎は6日まで自宅学習に。だが希望者にはオンラインで双方向の授業をすることにし、名古屋校では通学していた生徒の8割ほどが受講しているという。

静岡県の私立高校3年生の男子生徒は、開業医の父の姿を見て医師を目指すようになった。新型コロナ禍の中で懸命に働く医師の姿をニュースで知り、改めて医師として働きたいとの思いを強くしたという。「僕たちの世代は入試改革の混乱にコロナも重なって散々だけど、それを言い訳にはしたくない。後悔しないよう精いっぱい頑張りたい」

(佐藤剛志)